

北海道医歌人会詠草

春の椿事

札幌 古屋 統

滑走路に待機一時間北の空吹雪止まねばゲートに返す

チケットの切替へ六番カウンター既に出来てゐる長き長き列

三時間待ちてチケット切替へて羽田空港より放り出さるる

家に着けば274号線豪雪に埋もれし車列がテレビに映る

國道に雪の車内の窒息死空の遅れはいのち延びたり

ターミナルケア

美唄 吉村 誠治

老健もターミナルケア避けられず尊き命如何に看取らむ

誤嚥にて三度肺炎繰返す胃瘻の選択遂に決意す

やうやくに家族の合意取り付けぬ胃瘻作りて今日戻りたり

取組みしターミナルケアのしかかる疲れ重なる我は八十才

「透析はお断りします」と百才の媪は今日も微笑みてをり

手綱

札幌 山口 康徳

気まぐれに温度変るは人々のゆるみし心ひきしむるがに

寸刻の油断は恐し漁船の貴き命奪ふ悪魔は

安価買ひ年々下る自給率政府国民いまや狼狽ろうばい

いま弥生辿り着きしにこの嵐自然の脅威更めて識る

その昔とりし手綱をまたにぎり鎧踏よろひふみみしむ逞つよき選手は

明け暮れ

札幌 小国 孝徳

ドイツ語を学ばむためと「未完成交響楽」六七回も観たりしならむ

妻と二人のみの明け暮れに変わりなしチャップリンにさへ笑ふことなく

広島茶房に干せるバナナ食ひきモンペまとへる妻伴ひて

牛羊飽くなく食らふ子どもが鯨捕る国を斯くも罵る

細々と記せる吾の履歴書をさりげなく甥に渡して置きぬ